

The Greenpeace logo is displayed in white, bold, uppercase letters against a green background. The logo is positioned in the upper right quadrant of the slide, with several thin white lines curving around it from the left and bottom.

インドネシアにおける 気候・エネルギー問題の現状

Arif Fiyanto
Greenpeace Southeast Asia - Indonesia
September, 2014

インドネシア – 気候変動

- インドネシアは、気候変動の影響に対して非常に脆弱：
 - 食料安全保障、農業や沿岸地域の生産性、水アクセスへの脅威
 - 水系感染症や昆虫媒介性疾病の増加
- 発展と貧困削減が危険に晒される

A vertical green bar on the right side of the slide contains the word "GREENPEACE" written vertically in white, uppercase letters.

インドネシア – 気候変動

- 石炭火力発電所向け石炭の世界最大の輸出国
- 主に、森林伐採や泥炭火災があるために、世界で第3の温室効果ガスの排出国

GREENPEACE

インドネシア – 気候変動

- 一人当たり温室効果ガス排出量の増加率は、一人当たりGDPの増加率より早い
- 現在のエネルギー成長路線は、炭素集約的な資源（石炭火力発電）の利用増加に依存したもの
- 国際エネルギー機関(IEA) (2007年)は、現政権の計画からシフトしない限り、インドネシアの化石燃料関連の温室効果ガス排出量は、2025年までに3倍になると予測。

GREENPEACE

現政権のエネルギー成長プラン： ファースト・トラック 電力事業 I & II (開発中)

採用年	2006	2010			
電力源	ファースト・ トラック I (MW)	ファースト・ トラック II (MW)	案件数 合計	発電量 合計	全体に 対する割合
石炭	14,611	3,672	84	18,283	71%
ガス	560	1,300	4	1,860	7%
地熱	440	3,867	46	4,307	17%
水力		1,174	3	1,174	5%
合計	15,611	10,013	137	25,624	

GREENPEACE

バタン石炭火力発電所

- 海洋保護区の保護規定に反する同事業のため、条例を策定したバタン県政府に対する訴訟
- 同事業が環境に被害をもたらし、住民の生計手段を脅かすと主張する何千人もの住民が、何度も抗議活動

GREENPEACE

バタン石炭火力発電所

- 建設されれば、同発電所一つで年間1,080万トンの二酸化炭素を排出することになる
- 年間約226キログラムの水銀も排出される
- 年間16,200トンのSOx、20,200トンのNOx、610トンのPM2.5も排出される

バタン石炭火力発電所への融資

- バタン石炭火力発電所への日本の支援は、インドネシアや東南アジアの気候変動を加速化させうる。結果として、国内の環境社会影響の荒廃を招き、固定した排出量によって、世界は壊滅的な気候変動の路線へと下降していく。
- バタン事業は地元の強い反対により、長期間にわたって遅れている。また、脅迫や人権侵害によって、悩まされている。同事業に関係する公的かつ民間の金融機関は、自分たちの金融や風評リスクについて、再評価すべき。その代わり、きれいで持続可能な再生可能エネルギーと気候変動からの保護に不可欠な40億を支援すべき。

JBIC、伊藤忠、J-Power等への提言

- 事業実施主体やインドネシア政府が同席しない形で、現地調査を実施し、地元住民やNGOに直接(かつ秘密裏に)面会すること。
- JBICガイドライン等のあらゆる関連規定に則って、事業を遂行すること。
- バタン石炭火力発電所への融資を拒否すること。
- 世界中の石炭関連融資を止め、よりクリーンで持続可能なエネルギー・プロジェクトを支援すること。
- バタン石炭火力発電所という汚染発電所を建設することにより、汚染された未来をインドネシアに強要しないこと。
- 汚染された化石燃料プロジェクトへの投資を止め、再生可能エネルギーへの投資を行なうこと。

結論

地元住民の懸念に加え、国際NGOとして、グリーンピースは、JBICの石炭関連支援を非常に懸念している。というのは、インドネシアが、炭素排出量増加率の最も早い国の一つとなってしまう、40年間の新たな排出量において、インドネシアを身動きできなくさせてしまうからだ。

気候変動はすでに、地球規模での安全保障の最大の脅威であり、不安定要素となっている。

バタン石炭火力発電所は、東南アジア最大の超巨大発電所となるため、決して推進してはならない。建設されれば、日本とインドネシア間の協力関係において、醜い象徴となるだろう。